



福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	福島原発の放射能汚染による「ALPS 処理水」問題に対する行政側への「ナッジ」の機能とアプローチの検討 - 新たなリスクコミュニケーションのあり方とそのシナジー効果
Alternative_Title	Examining the functions and approaches of the "nudge" to the administration in response to the issue of "ALPS treated water" caused by radioactive contamination at the Fukushima nuclear power plant - New ways of risk communication and their synergistic effects
Author(s)	中山 敬太(早稲田大学) Nakayama, Keita(Waseda Univ.)
Citation	第 11 回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.24 The 11th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	セッション：復興への後押し
Text Version	Publisher
URL	https://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/251042
Right	© 2022 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 11 回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。



福島原発の放射能汚染による「ALPS 処理水」問題に対する
行政側への「ナッジ」の機能とアプローチの検討
—新たなリスクコミュニケーションのあり方とそのシナジー効果—

中山敬太 (早稲田大学社会科学総合学術院)

Keita NAKAYAMA (Faculty of Social Sciences, Waseda University)

【報告概要】

本報告は、「ナッジ(Nudge)」という法律、税金、そして補助金に次ぐ「第4の政策手法」として日本をはじめ世界の各国政府や地方自治体が注目を集めている状況下で、福島原発の放射能汚染による「ALPS 処理水」のリスク・トレードオフ問題を事例に、通常、行政機関側から個人への「ナッジ」の適用が一般的である中で、個人または行政機関以外から行政側への「ナッジ」の機能とアプローチ構造を、理論的背景も踏まえ具体的に検討する。個人側等から行政側への「ナッジ」適用は、一種の行政機関に対する「作為」または「不作為」等を促すことを意味する。その上で、「ALPS 処理水」問題等を事例に、今までの「ナッジ」の機能と具体的なアプローチ事例等を再検討することで、新たな「リスクコミュニケーション」の「場」のデザインのあり方に関して、「ナッジ」とのシナジー効果を踏まえ、その社会的意義や効果可能性等を検討した内容である。

福島原発事故後の放射線健康影響に関して、「原子放射線の影響に関する国連科学委員会(UNSCEAR)」は、「放射線被ばくが直接の原因となるような将来的な健康影響は見られそうにない」と評価し、また福島県「県民健康調査」検討委員会は「現時点において本格検査に発見された甲状腺がんと放射線被ばくの間の関連は認められない」との立場を表明しており、2021年4月には国内規制基準を厳格に遵守することを前提に、「ALPS 処理水」の海洋放出を容認する政府の基本方針が決定している状況である¹。

このような状況下において、上記で示した各機関がいかなる情報に基づき、どのような評価・判断に至ったのか、当該内容をどのように「情報」として広く周知しているのかは、当該情報を受けとった側(受け手)のその後の行動指針等になる傾向がある。今までの想定されてきた「ナッジ」の機能を再検討(先行研究のレビュー)することで、「ALPS 処理水」のようなリスク・トレードオフ問題に対する新たな「リスクコミュニケーション」の「場」のデザインのあり方に関して、「ナッジ」のアプローチによる意義とそのシナジー効果の可能性についても新たな視座を示す。

以上

¹ 環境省(2022年6月)「令和4年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書(概要)」引用・参照。(https://www.env.go.jp/content/000039238.pdf:最終閲覧日2022年7月7日)